

## 2. 服 装 (令和5年11月6日改定)

制服は、貧富の差や身分の差もなく、統一された身なりで、学校という空間での一体感や愛校心などを醸成する役割を果たしています。一方で制服は式服(礼服)としての意味も持ち合わせています。冠婚葬祭、どの場面においても対応できる制服は着こなしが大切です。肌の露出を控え、相手に不快感を与えないフォーマルな色味でコーディネートすることが求められます。礼服を着ているという意識をもって正しい服装の着こなし方を学んでいきましょう。

- (1) 標準服を着用し、校章を左襟につけます。  
夏服については、黒ズボンに白のワイシャツまたは白のポロシャツ、もしくは、紺スカートに白のワイシャツまたは白のポロシャツを着用し、その上から夏服用のベストを着用します。
- (2) 登下校時は原則、標準服を着用しましょう。冬季は防寒着を着用しても構いませんが、セーター姿で登校しないようにしましょう。
- (3) 登下校及び校内では、特別な指示がある場合以外は標準服を着用します。  
部活動の朝練習後、1・2校時に体育の授業がある場合は、ジャージまたは体育着で学活や授業を受けてもよいです。5・6校時に体育の授業があり、放課後、部活動の練習がある場合、ジャージまたは体育着の着用を認めますが部活動着は認めません。
- (4) 防寒を目的に黒・紺・グレーなど、落ち着いた色合いのスクールセーターまたはカーディガンを着用してもかまいませんが、標準服の裾や袖からはみ出さないように着用するよう心がけましょう。
- (5) 防寒着、マフラー、手袋、ネックウォーマー、ひざ掛けは、落ち着いた色合いのものを選択しましょう。安全指導上、耳を塞いだり視野視界を狭めるような帽子や耳当て等の防寒具および防寒着の着用は認めません。防寒着やひざ掛けは自分のロッカーやバックに入るものとします。校内安全上、椅子にかけたり、通路に置いたり、教室内で肩からかけたりすることのないように注意しましょう。
- (6) 防寒用にタイツおよびレギンスを着用しても構いませんが、無地で黒色の透けないものを着用してください。ただし、衛生面を考慮しタイツおよびレギンスを着用したまま体育の授業を受けることはできません。
- (7) 季節による標準服の調整は各自の判断で行いましょう。なお、儀式や式典に関して、6月から9月を除く期間は全て上着を着用します。
- (8) ベルトは黒を基調とした標準服に合った色・形のものを使いましょう。Zゼ
- (9) 靴下の色は、単色で落ち着いた色合いのものを着用しましょう。
- (10) 肌着はシャツから透けない清潔感のあるものを着用しましょう。
- (11) 装飾品は安全指導上認めていません。
- (12) 標準服のボタンは一番上から閉めましょう。ワイシャツ・ポロシャツは第2ボタンから閉め、シャツ出しはやめましょう。男子のホックは、儀式・朝礼・集会のときには必ず閉めましょう。
- (13) スカートは膝が隠れる長さにし、ズボンは腰ではかず、正しく着用しましょう。
- (14) 上履きや体育館履きのかかとを入れて履きましょう。  
全校朝礼や始業式、終業式など全校生徒が体育館へ移動する場合や、イスを持って体育館へ移動する場合は教室から体育館履きを履いていってもよいです。
- (15) 制汗スプレー、汗拭きシート、リップクリーム、ハンドクリームは使用しても構いません。ただし、無色で無香料のものを使用しましょう。